

消化器内科専門医に聞く

消化器内科部長

やぎ みつる
八木 満



患者さんからの大腸がん検診にお答えします



今年、住民健診を受けようと思って「大腸がん検診」で便検査をしました。そしたら結果は「便潜血反応陽性」という通知が来ました。

大腸がんなのでしょうか？不安で夜も眠られません。



70代女性



検診で「要精検」の通知が来て不安になっておられることと、胸中お察し致します。しかし、便潜血反応陽性＝大腸がんではありません。ただ、なんらかの理由で（がんも含めて）陽性反応が出たわけであり、大腸の現状を調べてみる必要があります。

現在一般的に行われている「大腸がん検診」の便潜血検査2日法では、要精検率は7～10%くらいとされています。検診受診者の中で大腸がんが見つかる人は、0.27%くらいと報告されており、「要精検を指摘された人でがんがある人」は理論上3%ほどということになります。

また、がんではないが、腺腫という（良性）腫瘍性病変は比較的指摘率が高く、施設の規模にもよりますが20～40%くらいあります。その内5mm以上の大きさになると一般に切除の対象となることが多く（腺腫が大きくなると、一部ががん化してくることがあるため）、内視鏡で切除することがあります。

その他にも、良性の非腫瘍性ポリープ・憩室・血管形態異常・痔等といった所見がみられることもあります。治療が必要かは臨機応変に決められます。

2次検診、つまり精密検査は大腸内視鏡が行われます。内視鏡を行うにあたり「うんち」を出すために、前処置での多量の下剤服用が必要であったり、検査であるからには一定の負担感もちろんありますが、上に示したような様々な病気の有無について、直接内視鏡で見て白黒つけられるというのは大きなメリットだと思います。

検診で要精検との結果で、不安な気持ちでいることと思います。そんなモヤモヤした気持ちをすっきり出来るよう、ご自身の大腸の状態を把握するのは大事なことだと思います。

当院では最新型の内視鏡を準備し2次検診を含め、大腸内視鏡検査・治療を行っております。ぜひご相談頂ければと思います。

発行：独立行政法人労働者健康安全機構富山ろうさい病院 地域医療連携室

富山ろうさい病院だよりは、当院ホームページにも掲載しています。

【連絡先】0765(22)1280(病院代表)

E-mail: chiiki2@toyamah.johas.go.jp